神坂地区女性懇談会　会議録

開 催 日 時	平成２０年８月７日（月曜日）１９時３０分～２１時００分
開 催 場 所	神坂コミュニティセンター　２階ホール
出　席　者	市民：37 名
	行政：大山市長、副市長、総務部長、企画部長、健康福祉部長 政策局長、地域振興局長、神坂コミュニティセンター所長、広報広聴課長 （楯市議会議員、島田市議会議員同席）

■司会者等あいさつの概要

・神坂地区の女性懇談会にお集まりいただき、ご苦労様です。忙しい時間帯に多く集まっていただきありがとうございます。
・地元の市議会議員さん、市長さん、市執行部の皆さんありがとうございます。
・今回で 4 回目の女性懇談会になります。
・女性懇談会でいつも思うことですが、普通の主婦が市長さんと顔を合わせて話をする機会はまずありません。いい機会をつくっていただいてありがとうございます
・ここでお願いしたことを言いっぱなしにしないように私達もできる範囲で頑張っていきたいです。
・1 年目には無理なことも 2 年目、3 年目で進められている要望も何件かあります。
・懇談会に出席して意見を述べたことが、実現するということを実感できます。貴重な機会だと思います。

■市長あいさつの概要

・こんばんは。司会者の方からもありましたように、忙しい時間帯にお集まりいただき、ありがとうございます
・市政に女性の声を反映させるということを 1 期目の就任の際に公約としてきました。そしてそれを続けています。1 回目の選挙の際、会合で市民の方の声を聞きましたが、ほとんどが年配の男性で、女性の声や若者の声を聞けませんでした。
・市政をするためには老若男女、すべての方の声を聞かせていただき反映させることが重要です。
・2 期目は若者の声を聞くことも公約としてあげています。
・この懇談会で出たことを、言いっぱなし、聞きっぱなしにしないでフォローしていく。
・進捗の管理をするために課を設けました。そこでチェック、管理をしていきます。
・女性懇談会の 3 回目までのアンケートをいただきました。市側の出席者が多くて意見が言いにくい、席が対面式だと話しにくいとのことでした。今回は市側出席者をしぼり、席も車座にしました。
・皆さんの率直な意見を伺い、市政に反映したいと思っています。
・司会、司会補佐の方にはご苦労をおかけしますがよろしくお願いします。
・市議会議員の先生方には監視役として見ていただいて、緊張の中でやりとりさせていただきます。
・本日はよろしくお願いします。

■市参加者自己紹介

副市長、企画部長、健康福祉部長、総務部長、神坂コミュニティセンター所長

■昨年までの女性懇談会の進捗状況報告（総務部長）

・市長のあいさつのとおり今までのご意見、ご要望について市がどのように取り組んでいるかを報告します。
・進捗状況：〇が実施済み、実施中のもの、△〇実施するが時期未定のもの、△×現段階では実施は困難なもの、×は実施しないものとなっています。
・17 年から 19 年の間 3 年間で 17 件のご要望、ご意見が出ています。
・17 件の内 14 件が実施済み、実施中。残り 3 件が現段階では実施困難です。
・昨年平成 19 年は、8 件ほどのご要望、ご意見が出ています
・里帰り出産やおはよう朝市、道路関係が 6 件です
・里帰り出産についてですが、産科医があと 1 人、助産師が 5 人程度の確保が必要です。今後も医師等派遣の要望をしていきます
・おはよう朝市の継続と PR についてですが、平成 20 年度からは六斎市に移行しました。地産地消はもとより、地産外消へつとめていきます。
・落合～神坂間の通学路の改良要望について、通学路の確保についてですが、現段階では実施困難ですが、県道ですので引き続き要望していきます
・中央道から出る水について、雨が降ると家の前の県道が水びたしになる件ですが、平成 19 年に県が改良工事をしています。
・柳樽川沿いの歩道を近道で利用したいが危険なので直して欲しいということですが、国土交通省の管轄ですので、平成 19 年に市から要望書を出していますが、予算的にも困難ですので良い回答をいただいていません。引き続き要望したいと思います。
・霧が原の落石については平成 19 年に上部の落石箇所については対応しました。
・中切の道路改善と倒木処理について、倒木は伐採処理で、道路の全面改良は難しいが待避所の設置は可能であるため、用地協力で工事完了しています。
・中切の地すべり箇所については調査の結果、現状は早急な対応は必要なしと判断しました。
・県営治山事業の要望をしましたが、県からは規模が小さいので困難とのことなので、平成 21 年度以降、市単独事業で対応したいと考えています。

■　懇談内容

・中津川市の広報広聴に関するアンケートがありますので、帰りに受付へお願いします
・ざっくばらんにお話してください、ご意見ご要望をどうぞ。

発言者	発言要旨	対応者	対応（回答）の内容
霧ヶ原 ●●さん	・霧ヶ原橋～志村宅までの道路の拡幅をお願いします。 ・夏場は登山者の車も通り、冬場は凍結して特に危険です。 ・車が安全にすれ違えることができるようにして	副市長	・霧ヶ原の地すべり対策事業の件については地区については岐阜県が管轄していて、市と連携をとりながら工事を進めています。 ・谷側のほうへブロックを積んで道路の拡幅をおこない、待避所の設置など可能な限り対応してきました。 ・冬場はこの地域の建設業者の方へ除雪作業をお願いしている。 ・不十分な点もあると思うので、建設課に話をして、融雪剤の散布、融雪剤ボ

	ほしいです。 ・土地については地主さんに了解を得ていますので、道路の幅を広げてほしいです。 ・地すべり防止の板塀の改修をお願いしたいです。	コミュニティセンター所長	ックスの設置などの対応を検討したいと思います。 ・霧ケ原の地すべり地帯の改修工事について、8月18日頃から工事を着工します。 ・坂下の濃州土建が工事をおこないます。 ・通行止めをしないでやります。土砂排出をして、老朽化した落石防止の板も改修します。 ・区長に回覧用のチラシを作成しましたのでお願いします
		副市長	・合併しました各恵北町村では辺地、過疎といった補助を受けて事業をやっていました。 ・非常に有利な補助金です。 ・人口が減っているような地区に運用できます ・神坂地域も当てはまるので、霧ケ原地域を辺地指定の申請をしました。 ・道路などは促進できる状況ですので、計画的にやっていきたいと思っています。
	・福祉バスから北恵那バスへの乗り継ぎで、停留所に雨よけのボックスがほしいです。	副市長 企画部長	・停留所の雨よけについてですが、設置できる場所があるかどうかの確認をしていく必要があります。コミュニティセンターの所長に場所の候補を上げてもらい、検討していきたいと思っています。 ・巡回バスについて補足させていただきます。 ・H19年9月から落合と同時に巡回バスを始めました。 ・バス停留所の上屋についてはもう少し時間をかけて計画の期間を見ていきたいと思います。 ・他の地区でも巡回バスを走らせていますが、バス停については建設していま

			せん。 ・試行期間ですので、路線変更やバス停の変更、時間変更、路線バスとの時間調整などの中で本運行にしていきたい。 ・バス停の構造については、地形にもよりますので、そのときに必要な物を考えていきたい。 ・なるべく安い費用でやっていきたいと考えています。
	・霧ヶ原地区の水道設備が 50 年近く経過している。近い将来補助金等を受けて改修する必要があると思います。	副市長	・霧ヶ原の水道取入口についてですが、定期的に検査、巡視をしています。老朽化が確認された場合、適正な改修計画を立てたいと考えています。 ・水道事業でおこないますので、改修工事をしますと、水道料金に反映されてきます。このあたりも適正にできるよう進めたいと思います。
中切 ●●さん	・市道 11 号線について。倒木の処理は終わっているとのことだが、3～4 本切っただけで、実際には道に日がささないぐらい木が生えている。 ・冬場は凍結する。 ・軽のワゴン車が一台通ると道幅がいっぱいです。拡幅していただきたいです。	副市長	・市道 11 号線については、市長の公約でも述べさせていただいているように、市民の皆さんの力をお借りして、道路周辺の地主さんの了解を得たうえで木を切っていただくことを進めています。 ・市道延長のなかにこのような場所がいくつもあり、地域の皆さんが一番危険な箇所を承知してみえる。 ・他の地区でも地主さんの了解を得て日差しがはいるように方策をとっています。 ・大きな木などは市で協力していきますが、生活道の確保という観点から市民の皆様のご協力をお願いしたいです。
		市長	・道路について基本的な考えをお話します。 ・道路についていろいろな要望がありますが、効果、必要性などを考え、どういう順序でやっていくかが大切です。

			・用地の話ができているかといったことも関係してきます。 ・現在、道路整備基本計画を策定中です。 ・身の回りの道路については、先ほど副市長がお話したように、材料を提供しますので、地元で土木経験者の方にご協力いただいて、労力を提供していただいてできることもあるので、相談しながらやっていきたいと思っています。
司会 ●●さん	確認ですが、市道 11 号線の件は進捗管理では〇で完了になっていますが、中切地区の●●さんから質問がでました。どうなっているのでしょうか。		
中切 ●●さん	・この道は地主さんが利用する道路ではないし、地主さんは別のところに住んでいます。 ・4 年ほど前に PTA 役員で一部の木を切ったのですが、伐採した木の片付け等、非常に手間のかかる作業でした。 ・この片付け等は市で対応していただけますか。	市長

小森 ●●さん	・市営住宅の工事が着工し、来年度から入居できるとのことです。 ・息子が結婚して市内のアパートに住んでいます。いずれは神坂に帰ってくると言ってくれています。 ・3 年～5 年先に家を建てるまで、この市営住宅に住んでもらえれば、神坂に家が建ててもらえると私もよろこんでいるのですが、中津川市民でなく他市の人が優先だとききました。 ・どうかなという疑問があります。 ・前に要望した小森の水の件ですが、小学校の横の土手のところで水が流れたところがありました。 ・それがついこの前から、パイプを通して工事をしてくれている。 ・要望したことが順番にできていることがうれしく感じます。	副市長	・UI ターン住宅について、基本的な考え方をお話します。 ・高齢化率の高い地区、神坂と阿木について建設します。 ・高齢化を防止したいのと、小学校の複式を防ぎたい、そんな意味で UI ターン住宅を進めています。 ・1 億 1 千万円ほど予算を計上しています。 ・UI ターンということで、恵那や名古屋からこちらへ住まれる方への住宅と考えています。 ・お話された方は現在中津川市内のアパートに暮らしている方と思いますが、よそからの方を対象としています。 ・入居期間 5 年間で神坂地域に住宅を建設してほしい。そのためにも区長にも住宅地の斡旋をお願いしています。 ・中津川市内のアパートから市営住宅へというのは今のところ考えていません。もう少し内容を詰めながら検討させていただきたいと思います。 ・中津川から市外へ出ている方で、地元に帰ってきたいが、すぐには住宅がない、そういった方がワンクッションおけるような場所ということで考えています。

小森 ●●さん	・現在子どもが結婚して、中津川市内に住んでいるのですが、神坂に住みたいということが要望でした。 ・そこに住めるということで住宅をお願いしていました。 ・現在中津川に住んでいる人は市営住宅には住めないということですか。	副市長	・現段階では UI ターン者が希望した場合、そちらを優先したいと考えています。 ・細かい内容はまだこれからですが、6 戸建設予定です。6 戸がすぐうまるかわからないので、いますぐには申し上げることができないのですが、基本的には UI ターンということで、こちらの地域に住んでいただける方を増やしていきたいと考えています。
小森 ●●さん	・今、神坂の子どもたちは住むところが無くて中津のアパートに住んでいるのです。 ・住宅ができる、帰ってこられるということで喜んでいるのですが、無理なのでしょうか。		
司会 ●●さん	（アパートは）福岡ですよね。神坂からみると福岡は同じ中津川市でも市外の感覚があります。ここにいる人みんなが理解できると思います。 基本的なことと言われると仕方ないですが、もし優先順位で決まらなかったら、入れるのでしょうか。		
		副市長	・UI ターン住宅の基本的考えはこの地域に住んでいただくのが目的です。他所からの方を環境のいい神坂に住んでいただくという考えです。 ・地域の人が地域に入ってしまっては他から人が入って来られません。そういった意味の UI ターン住宅です。 ・ご理解をいただきたいと思います。

		市長	・基本的には副市長が申し上げたところです。 ・コミュニティの核としての小学校を維持していく。 ・市として一番いいのは、市外から来ていただくこと。 ・ただ、空き家が多い状態では意味がありません。 ・まずは市外からのUIターン、埋まらなければという話です。 ・坂本では1学年 140 人くらいいるので、そういったところから移ってきてくれれば意味のあることだと思います。 ・ベストではないがベターな状態として埋めていく。 ・一概に UI ターンだけではないと思います。 ・募集をかけてみないとわかりませんが、皆さんにお知らせしながらやっていきたいと思います。 ・硬直的な考え方はしませんが、応募状況をみて判断していきたいです。
小森 ●●さん	・神坂に家を建てて、入ってくれる子が神坂にいるということも事実です。 ・そういう人も今日の要望として入居できる方向として検討していただけるとありがたいです。	市長	・そういうご要望を踏まえながらですが、UIターンに限るわけではないことだけはご理解いただいて、応募状況をみて判断していきたいと思います。
小森 ●●さん	・神坂パーキングにスマートインターチェンジができると聞きましたが、どのような道でできるの	副市長	・スマートインターチェンジがサービスエリアにできる。ETC カードを使ったインターチェンジです。 ・国でもスマートインターチェンジについて進めていますので、可能性があるかどうか検討しています。

	か、本当にできるのか伺いたいです。		・議員の先生方も議員連盟をつくっています。 ・坂下や長野県も含めて、協議会をつくってやっています。 ・どんなルートでどこにできるかについては検討している状況です。 ・幹線の県道中津川南木曽線に取り付けすることになるかと思います。 ・大変大きなお金もかかりますし、大型車を通すことになると、前後の道路の環境も変わってきます。 ・すべての面での検討をこれからしていくという状況です。
	・もしできるとしたら結局は学校の近くになるのでしょうか。 ・それは確実なのでしょうか。	市長	・それは確実な話ではありません ・どこに取り付けたらいいのかは検討中です。 ・生活を考えたら大型車は遠慮してほしいので、そういったことができるのかも検討している段階です。 ・しかるべき段階に地元の皆さんともお話しながらかためていきたいです。 ・これはすぐできるものではありません。道路特定財源が一般財源化すれば、お金がこない。 ・本当にできるのかということはこれからさらに詰めていく必要があります。 ・馬籠や妻籠の世界遺産の登録も関係してくると思います。 ・まだまだこれからの話ですので、このような形で、このように決定しているという段階ではありませんので、よろしくお願いします。
新道 ●●さん	・先ほども出たように神坂も高齢化率が高いとのことです。 ・身近なところでいうと年金の話とか、後期高齢者医療の話、物価高	市長	・資料の P4 を見ていただきたいと思います ・今度の市長選挙にあたっての公約をあげました。 ・お話をいただいた福祉の部分が真ん中あたりにあります。 ・障害者の施策、子育て支援、介護予防を含めた総合的な健康づくり、市民病

	の話。 ・神坂も核家族化していて、老人の1人暮らしや老夫婦2人暮らしも増えてきています。 ・ほかにも医療費の削減など、これからの将来についてよい材料が聞こえてこない厳しい世の中です。 ・私達だけでなく若い人たちにも負担がかかることです。 ・女性の負担がこれから大きくなっていくと思います ・こういった現状をふまえて、市長さんの将来的ビジョン、具体的な政策があればお聞きしたいです。		院、坂下病院の医師看護師の確保、福祉バスの導入、こういったことを公約として掲げて選挙をさせていただきました。 ・また、互いに助け合うコミュニティづくりということで、UIターン住宅の整備、高齢化率の高い集落のコミュニティ維持を支援。限界集落のことですが、集落単位でなく、もう少し広い範囲で助け合うしくみができないか考えています。 ・公約については、それぞれ担当を貼り付けています。 ・今までは課長レベルを貼り付けていましたが、従来よりも体制づくりをしっかりして公約実行をしています。 ・P3には全体的な考え方が書いてあります。市長2期目の所信表明が折り込みで入っていますが、公約についてもう少し細かくあげています。 ・今お話しいただいた不安な部分は、ここでお答えしただけでは拭いきれないと思います。 ・特に国の施策にかかる部分が多いと思います。 ・私の基本的な姿勢は広報なかつがわの4月号で説明させていただきました。 ・国の政策でも市民の皆さんの声を届けていきたいと思います。 ・年金や後期高齢者医療や物価高など。 ・若い方の負担、正規職員とそうでない人との格差、そういった点についても声をあげていきたいです。 ・市として手をうちにくいのは医療制度の関係です。厚生労働省の取組みの中にあることを感じています。 ・福祉バス、交通弱者の足の確保についても国政の判断に関わるものです。 ・全国市長会へ声をあげています。 ・国政に声を届けるということをやっていきたいです。

			・市議の皆さん方とも連携していきたい。
司会 ●●さん	ありがとうございました。 国政にというのは難しい問題ですが、市長さんや市議の方に頑張っていただいて、すこしでも住みよい地域作りという形ですすめていただきたいと思います。		
川並 ●●さん	・先ほどの住宅ですが、出入口はどこになるのですか。 ・以前、私の息子が車でもらい事故をおこしたことがあるので、見通しのよいところに出入口をつくってほしい。 ・東濃森林管理署のところは出入口にはならないですね。 ・福祉の関係で伺いたいです。 ・少ない年金の中から福祉の会に会費を払っています。 ・以前はぶどう狩りなどに連れて行ってもらっていましたが、今は年寄りばかりで行く人がいない。 ・市に収めるお金がどうなっているのか。もう集めなくてもよいのでは。 ・神坂地区で集めているお金は香	コミュニティセンター所長 市長 コミュニティセンター所長	・出入口については、●●さんの家側が出入口になります。 ・今工事が行われております。 ・東濃森林管理署のところは出入口にはなりません ・いろいろな面で危険になるので、調査をして担当課と検討して、カーブミラーをつける等検討していきたいと思っています。 ・地元の皆さんとよく相談して。 ・話が伝わってないのではないか。 ・工事については区長会で図面等を使って説明しています。

	典などで使っている。 ・今年から初めて会計をしています。 ・神坂の方の分を集めるのもよくわからなくて、今年は会費を区長さんに頼んで集めてもらうようにしました。		
司会 ●●さん	市へ収めるお金と言われましたが、身体障害者の方の組織の関係のものですか。		
		コミュニティセンター所長	・身体障害者の方たちの独自の協会です。
川並 ●●さん	・健康福祉部長がみえたので聞きたいと思いました。 ・お金集めてもどこにもっていけばいいのかわかりません。 ・今年は落合の方に持っていってもらいました。	健康福祉部長	・身体障害者福祉協会へ川並の●●さんからそういったご意見があったことをお伝えします。 ・身体障害者福祉協会は身体障害者の皆様で成り立っている会です。 ・岐阜県全体もありまして、その中に皆さんのいる中津川支部もあります。 ・中津川市の代表者にお伝えします。 ・市が運営に関わっておりませんので、意見があったということで申し上げておきます。

■市長総括

・充分な回答という感覚ではない部分もあったかとは思います。
・今日のご意見は進捗管理してご報告したいと思います。
・市では 850 人体制を目指しています。
・コミュニティセンターと総合事務所とのバランスを考えていかないといけない。
・地域づくりの観点から皆さんの声をコミュニティセンターで受けながら取り組んでいくことが大

切だと思っています。
・コミュニティセンターは皆さんの身近な市役所です。女性の懇談会、年１回だけで声が届くかどうかというところもあります。今ご要望を持っていなくても、今後そういったことが出てきた場合、コミュニティセンターに声を届けてください。
・地元の声、市民の声をしっかりと聞いて、反映させた市政をしていきたいと思います。
・司会、司会補佐の方にお礼を申し上げまして、私のまとめとさせていただきます。
・今日は貴重な時間をこの会にご出席いただき、また熱心にご討議いただきましてありがとうございました。

■ **閉会のあいさつ**（司会補佐）

・長時間ありがとうございました。市長さん、各部長さんありがとうございました。
・女性懇談会の進捗状況をみると〇が多い。こういう機会に私達の意見を聞いていただけるのはいいことなので続けていきたいです。
・小森の張山さんが言ってみえたのですが、同じ神坂に住んでいますが、ＵＩターン住宅ということを私達は知りませんでした。
・市長さんと意見を交換することによって、張山さんの意見を頭の隅においていただけるということで、道路のことについてもそうですが、こういう機会は大切だと思いました。
・これから私達の意見も取り入れていただけたらと思っています。
・それを期待しながら今日の懇談会を終了したいと思います。
・本日はありがとうございました。